

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 361 事業名 動物との共生推進事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		衛生費
	項		保健衛生費
	目		狂犬病予防費
	大事業		狂犬病予防事業
	事項		動物との共生推進事業

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	生活保健課	辻 晃至 (433-2261)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	市民が、動物の愛護と適正な飼養に関する正しい知識を持っている状態にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市報・ホームページ等で犬猫の適正飼養及び繁殖制限等に関する啓発を行い、また飼いまわりの指導も行う</li> <li>・ボランティアの協力により保健所にてしつけ方教室を開催</li> <li>・譲渡事業（保健所にて譲渡講習会、犬猫の譲渡を行う）</li> <li>・学校における動物愛護教室（命の大切さ等を教育）</li> <li>・動物愛護フェアの開催</li> </ul>				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		小学校へのお出前事業（わうくらす）：26回 しつけ方教室の開催：4回 動物愛護講習会：1回	小学校へのお出前事業（わうくらす）：31回 しつけ方教室の開催：4回 健康応援フェア（動物愛護コーナー開設）：1回	小学校へのお出前事業（わうくらす）：42回 しつけ方教室の開催：8回 健康応援フェア（動物愛護コーナー開設）：1回 動物の譲渡講習会：2回		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	975	475	901	813	950	772	923		923		
	伸び率 (%)	-	-	-7.6%		5.4%		-2.8%		0.0%		
	人件費	常勤職員	7,444	6,919	6,919	7,697	7,697	7,350	7,350		7,350	
		非常勤職員	987	1,002	1,002	2,466	2,466	2,466	2,466		2,466	
		小計	8,431	7,921	7,921	10,163	10,167	9,816	9,816		9,816	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源（税等）	975	475	901	813	950	772	923		923			
所要人数	常勤職員	0.97	0.9	0.9	1.02	1.02	0.97	0.97		0.97		
	非常勤職員	0.48	0.49	0.49	1.01	1.01	1.01	1.01		1.01		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	小学校へのお出前事業（わうくらす）回数	年度目標値			38	40	42	44	48		
		実績値			26	31	42				
	単位	回	全体目標値	48	全体目標達成度	87.5%	年度別達成度	68.4%	77.5%	100.0%	
	犬猫の譲渡会開催回数	年度目標値					2	3	4		
		実績値					2				
単位	回	全体目標値	4	全体目標達成度	50.0%	年度別達成度		100.0%			
成果指標	犬猫の苦情件数減少率：当該年度の苦情件数／平成18年度の苦情件数（369件）				年度目標値	80	70	60	50	50	
	単位	%	全体目標値	50	全体目標達成度	50.8%	実績値	107	93	98.4	
	年度別達成度				74.8%	75.3%	61.0%				
	犬猫の譲渡頭数	年度目標値					25	30	35	40	45
		実績値					13	14	39		
	単位	頭	全体目標値	45	全体目標達成度	86.0%	年度別達成度	52.0%	46.0%	111.4%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	市民の動物愛護に対する関心が高まっているため、事業を計画的に進める必要がある。
「見直し」 「改善」案  ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	